

令和5年度 学生による 授業評価アンケート 調査結果

岩手大学大学院
理工学専攻教務委員会
理工学研究科教務委員会
令和7年3月発行

転載禁止

目 次

ページ

令和5年度実施理工学専攻授業アンケート結果の分析	1
授業アンケート項目	2
授業アンケート結果：コース別評定平均	4

令和 7 年 1 月 2 4 日

令和 5 年度理工学専攻授業アンケート結果の分析

大学院教務委員会
委員長 萩原 義裕

大学院は高度な専門教育の場であり、定番の教科書が少なく教員の個性が表れやすい。高度な専門教育という点では、教員の深い知見に基づく個性的な講義は望ましいが、専攻やコースの人材育成目標に沿って、カリキュラムポリシーやディプロマポリシーを支える重要な要素として実施されなければならない。授業の実施状況を把握する手段の一つが授業アンケートである。OCR から WEB アンケートに移行し、集計作業の効率化と経費削減を実現した一方、回答率が低い傾向にあり、全数調査ではないという点には注意が必要である。

1. 令和 4 年度実施の「授業アンケート」結果について

(1) 授業への取り組み

教科によってばらつきがあるものの、多くの項目が改善傾向にある。ただし、学部の教科と比べ多くの教室外学習を実施しているが、なお教室外学修の時間数は十分とはいえず、継続的な改善が必要である。一方で、課題が多いため研究時間が取れないという声もある。教科の実質化を考えると教室外の学習を増やす努力が望まれるが、同時に研究時間が圧迫されないような配慮も必要といえる。

(2) 進め方・内容、話し方・環境

学部の授業では、進め方が速すぎるケースや内容が薄いと指摘されるケースが散見されることもあるが、理工学専攻では過不足に関する数値や意見は見られず、適正な水準と言える。話し方や環境に対するアンケート結果も同様である。大学院の場合、受講者が比較的少なく、きめ細かい対応が可能であること、受講生の意識や教育水準も比較的そろっていること、など、好条件がそろっており、教員もそれに呼応する努力をしていると考えられるが、好条件に甘えることなく引き続き改善を行うことも同時に求められる。

(3) 達成度・総合評価

大学院の教科では、学部の教科と比べ良好な科目が多い。それらの教科では引き続き、改善の工夫を積み重ねればよいだろう。いくつかの科目では、極端に低い数値になっていたり、極端に高い値を記録した教科もある。これらはいずれも、受講者数・回答者数が極めて少ない科目であり、やむを得ない範囲と考える。受講者数が少ない科目群は、受講者と教員のコミュニケーションを密にするなど、受講生が少ないということを生かした授業展開を目指すことが望まれる。他方、受講者数が 50 名近い教科は、学生の興味を喚起する分野、かつ、教員の努力が実を結んだ結果であることが予想されるが、教員間の負担の格差など、デメリットにつながることはないように、コース内での継続的な検討が望まれる。

(4) 共通科目

共通科目は、学生の専門から比較的遠い教科が多く、オムニバスも多い点が特徴である。学生の評価は比較的良好な科目が多い。ただし、いくつかの教科で教員と学生間の連携不足や専門性が高すぎるといった批判も自由記載欄で散見された。これらは科目内で検討し、継続的な問題解決に努める必要がある。

2023年度前期 理工学専攻アンケート設問一覧

順番	設問文
1	あなたの出席回数は、何回でしたか？
2	1回の授業に当てた教室外学習（予習・復習）時間の平均時間は、どのくらいですか？
3	あなた自身は、熱意をもってこの授業に臨みましたか？
4	わからないことは、質問したり調べたりしましたか？
5	この授業の内容は、理解できましたか？
6	シラバスまたは授業で説明された授業の目的・意義を理解できましたか？
7	シラバスに沿って授業が行われましたか？
8	授業の分量と進む速さは、適切でしたか？
9	教員の話し方は、聞き取りやすかったですか？
10	教員の説明は、分かりやすかったですか？
11	板書やプロジェクタなどによる資料掲示は見やすかったですか？
12	教科書や補助教材が効果的に使用されていましたか？
13	この授業の形式について、おもに該当するものを選択してください
14	教員は、学生の参加（質問・発言など）を適切に促しましたか？
15	この授業を総合的にみてどう評価しますか？
16	この授業の到達目標に対して、自身の達成度はどうでしたか？

2023年度後期 理工学専攻アンケート設問一覧

順番	設問文
1	あなたの出席回数は、何回でしたか？
2	1回の授業に当てた教室外学習（予習・復習）時間の平均時間は、どのくらいですか？
3	あなた自身は、熱意をもってこの授業に臨みましたか？
4	わからないことは、質問したり調べたりしましたか？
5	この授業の内容は、理解できましたか？
6	シラバスまたは授業で説明された授業の目的・意義を理解できましたか？
7	シラバスに沿って授業が行われましたか？
8	授業の分量と進む速さは、適切でしたか？
9	教員の話し方は、聞き取りやすかったですか？
10	教員の説明は、分かりやすかったですか？
11	板書やプロジェクタなどによる資料掲示は見やすかったですか？
12	教科書や補助教材が効果的に使用されていましたか？
13	この授業の形式について、おもに該当するものを選択してください
14	教員は、学生の参加（質問・発言など）を適切に促しましたか？
15	この授業を総合的にみてどう評価しますか？
16	この授業の到達目標に対して、自身の達成度はどうでしたか？

コース別評定平均一覧

令和5(2023)年度 前期

コース名	I. 授業への取り組み	II. 進め方・内容	III. 話し方・環境	IV. 達成度・総合評価
物質化学コース	4.4	4.5	4.3	4.3
生命科学コース	3.8	4.3	4.2	3.9
数理・物理コース	4.2	4.4	4.5	4.3
材料科学コース	4.1	4.6	4.8	4.4
電気電子通信コース	3.8	4.1	4.2	3.8
機械・航空宇宙コース	4.2	4.5	4.6	4.2
知能情報コース	4.1	4.5	4.6	4.2
デザイン・メディア工学コース	4.5	4.5	4.4	4.5
専攻共通科目	4.1	4.2	4.4	4.3

令和5(2023)年度 後期

コース名	I. 授業への取り組み	II. 進め方・内容	III. 話し方・環境	IV. 達成度・総合評価
物質化学コース	4.2	4.6	4.7	4.5
生命科学コース	4.3	4.4	4.6	4.1
数理・物理コース	4.2	4.7	4.7	4.6
材料科学コース	4.1	4.6	4.5	4.4
電気電子通信コース	4.0	4.4	4.3	4.2
機械・航空宇宙コース	4.3	4.6	4.7	4.5
知能情報コース	4.2	4.4	4.3	4.3
デザイン・メディア工学コース	4.3	4.0	4.0	3.8
専攻共通科目	3.8	4.1	4.4	4.2